



(2) 市役所における新エネルギー導入実績



(3) ISO14001による取組

本庁舎における環境保全活動をより確実に実行していくため、平成12年3月に環境マネジメントシステムの国際認証であるISO14001を取得しました。さらに、環境科学研究所においても、平成15年7月にISO14001の認証を取得しました。

区分	適用範囲・目標
本庁舎	北九州市環境基本計画に掲げる施策の推進 北九州市役所の本庁舎すべての事務活動に適用され、エコオフィスを目指す。
環境科学研究所	環境及び保健衛生に係る試験・検査及び調査研究等全ての事業活動に適用される。

◆ISO14001による取組の成果(本庁舎)

大区分	小区分	平成20年度 (基準年)	平成21年度 実績(速報値)	目標 (平成23年度まで)	基準年からの増減		
					使用量	CO ₂ 量(ト)	経費(千円)
省エネルギー・省資源の推進	電気(千kwh)	4,905	4,652	-1.2%	-253	-95	-777
	ガス(千m ³)	412	377	±0%	-35	-84	-1,399
	水道(m ³)	30,148	29,203	±0%	-945	-1	-632
ごみ減量・資源化の推進	コピー用紙使用量(万枚)	3,442	3,532	3,000	90	-	-2,054*
	一般廃棄物(ト)	70	51	±0%	-19	-4	-419
グリーン購入の推進	環境物品調達率 (合理的な理由の非適合品を除く)	99.23%	99.64%	100%	-	-	-
公用車の適正管理	ガソリン等燃料(kl)	162	156	適正管理	-6	-25	-3,524
意識の定着	5分間清掃(人)	1,058	1,008	積極参加	-	-	-
	公共工事における環境配慮	コンクリート塊(再資源化率)	100%	集計中	100%	-	-
	アスファルト塊(再資源化率)	100%	集計中	100%	-	-	
合計	-	-	-	-	-	-209	-8,805

*経費が削減された理由は、コピー用紙の単価が下がったため。



太陽光発電
・紫川水源池(150kW)

紫川の緩速ろ過池の上部に太陽電池を設置。通常時はポンプ電力に利用し、災害時には避難場所の夜間照明や情報装置に電力を供給する。



太陽光発電
・北九州市自然史・歴史博物館(160kW)

自然史・歴史博物館の屋上に太陽光発電設備を設置し、使用電力の一部を太陽光発電で補うとともに来館者に対して地球環境保全の理解を深める。



小水力発電
・穴生浄水場(340kW)

穴生浄水場の原水である力丸ダム取水の大きな有効落差を利用した発電施設(水が高い所から流れ落ちる力を利用して水車発電機を回転させ電力エネルギーを発生)



廃棄物発電
・皇后崎工場(36,300kW)

焼却炉の熱を利用して発生させた蒸気を再度過熱して蒸気タービン発電機を駆動し、高効率発電するものであり、再加熱する熱源としてガスタービン発電機の排熱を利用する。



燃料電池他
・北九州学術研究都市(360kW)

環境エネルギーセンターに設置した燃料電池(200kW)やガスエンジン発電装置によるコージェネレーション(160kW)(発電の際に排出される熱を空調などにも利用することにより、電気と熱の両方を供給する仕組み)